

船舶事故調査報告書

平成25年1月31日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成23年11月9日 03時20分ごろ
発生場所	広島県呉市音戸ノ瀬戸南口 呉市所在の音戸灯台から真方位183°600m付近 （概位 北緯34°11.6′ 東経132°32.2′）
事故調査の経過	平成23年11月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	貨物船 ^{きしろう} 輝翔丸、499トン 135169、不二海運株式会社 74.90m×12.00m×7.01m、鋼 ディーゼル機関、1,323kW、平成8年4月9日
乗組員等に関する情報	船長 男性 64歳 四級海技士（航海） 免許年月日 平成7年3月23日 免状交付年月日 平成22年1月14日 免状有効期間満了日 平成27年3月22日
死傷者等	なし
損傷	船首船底外板に凹損及び擦過傷
事故の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、広島県広島港揚げの鋼材約564tを積載し、船首約2.40m、船尾約4.20mの喫水で呉市倉橋島東方沖を北進中、平成23年11月9日02時50分ごろ船長が音戸ノ瀬戸を航行するために昇橋した。</p> <p>船長は、一等航海士を船首配置に就け、減速しながら音戸ノ瀬戸南口に接近し、同瀬戸を南北に見通せる地点において、主機クラッチを中立として惰力で航行したが、同瀬戸内に航行中の他船がないことを確認したのち、本船を同瀬戸のほぼ中央に向けるために右舵一杯を取った。</p> <p>船長は、右回頭して船首がほぼ音戸ノ瀬戸の中央に向く頃、回頭を止めるために左舵20°を取り、回頭が止まる頃、舵を中央に戻そうとしたが舵が動かず、同瀬戸左岸に向けて接近するので主機を全速力後進としたが、本船は、03時20分ごろ海岸に乗り揚げた。</p>

	<p>船長は、主機を停止して浸水の有無を調査したのち、操舵室に戻って操舵装置のスイッチを入れ直したところ舵が正常に作動したので、本船は、04時30分ごろ高潮時を待って自力離礁し、呉市呉港に入港した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 低潮時、潮流 北流から南流への転流時</p>
その他の事項	<p>本船は、広島港で修理業者により操舵装置が点検されたが、不具合は発見されなかった。</p> <p>船長は、入港時刻が1時間早くなったことを聞いた際、音戸ノ瀬戸の航行経験が5～6回あったことから、同瀬戸を通れば平素航行する安芸灘より航海時間を約3時間短縮できるので、同瀬戸を航行することとした。</p> <p>海上保安庁刊行の瀬戸内海水路誌には、音戸ノ瀬戸に関して次のとおり記載されている。</p> <p>最狭部の可航幅（水深5m以上）は約60mで、水路の見通しは悪く、潮流も強い。</p> <p>高速船、カーフェリーが頻繁に行き交い、また、周辺には養殖いかだが設置されているところもある。南口から北航する場合、なるべく南航船との行き会いを避けるため十分水路を見通せる位置まで進入してから瀬戸に入るのがよい。通航船舶は、ほとんどが500t未満である。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし <p>本船は、音戸ノ瀬戸南口に接近した際、船長が、右舵一杯を取って同瀬戸の中央に向けて右回頭したのち、回頭を止めようとして左舵を取り、舵を中央に戻そうとしたところ、舵が動かなかったことから、左舵が取られた状態となり、同瀬戸左岸に向けて航行し、海岸に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、舵が動かないことを知って直ちに全速力後進としたが、乗揚を回避できなかったものと考えられる。</p> <p>舵が動かなかった理由については、明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、音戸ノ瀬戸南口に接近した際、船長が、右舵一杯を取って同瀬戸の中央に向けて右回頭したのち、回頭を止めようとして左舵を取り、舵を中央に戻そうとしたところ、舵が動かなかったため、左舵が取られた状態となり、同瀬戸左岸に向けて航行し、海岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え</p>

	<p>られる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 499トン以上の船舶は、できる限り音戸ノ瀬戸を航行しないこと。
--	---